昭和３４年

国等の動き			沖縄での動き		
1.12	第二次岸内閣改造(坂田道太厚相)	①	1.16	海外引揚者協会の招きで全国海外引揚者団体連合会顧問小西英雄氏来島	⑥
1.14	(財)千鳥ケ淵戦没者墓苑奉仕会設立許可	①			
3. 3	未帰還者に関する特別措置法(法7)（長期間生存不明未帰還者の戦時死亡公告制度の設置に伴う年金支給）	①	3.25	京都遺族団(山本ｷﾐ団長)24名来島	⑥
3.28	「千鳥ケ淵戦没者墓苑」竣工式並びに追悼式を挙行、両陛下御参拝	①	4.20	33年度(32.4～33.3)年金恩給支払状況、工交局恩給係でまとめ 総額約 709万ドル（23万2605件）	⑥
4.28	(財)動員学徒援護会設立許可（厚生省所管）	①	4.25	八重山傷痍軍人会総会	⑥
			5.11	沖縄傷痍軍人会主催で身体障害者無料巡回診療始まる。	⑧
			5.26	旧海軍軍人が沖縄海友会を設立	⑧
6.18	第二次岸内閣改造(渡辺良夫厚相)	①	6. 6	沖縄遺族連合会第9回全琉遺族大会（於：那覇劇場）	⑥
			6. 9	新「小桜の塔」除幕式（那覇市旭が丘公園）	⑧
8.13	日本、北鮮赤十字「在日朝鮮人の北朝鮮帰国に対する協定」に署名（12.14帰還第一船、新潟港出発）	⑩	7.24	日本遺族団(毛利三郎団長)42名戦跡巡拝のため来島(26日帰日)	⑥
9.25	新潟市に引揚援護局新潟出張所開設（在日朝鮮人の北朝鮮帰還事務再開）	①	9.24	第５代那覇南方連絡事務所長に佐藤武五郎氏任命	⑦
			10.21	全国戦没学徒慰霊塔に、沖縄学徒も奉る。	⑧
			11.13	沖縄護国神社秋季慰霊祭の祭典奉仕のため靖国神社池田良夫権宮司来島	⑥
			11.26	沖縄遺族共済会設立	⑧
12.28	(財)偕行社設立許可(厚生省所管)	①			

昭和３５年

国等の動き			沖縄での動き		
			4.15	靖国神社参拝団（引率：下地茂氏）一行１０１名出発	⑥
5.21	グァム島で生存していた元日本軍人	①	5. 3	南方同胞援護会事務局長吉田嗣延氏八重山視察のため来島	⑥
5.23	皆川文蔵、伊藤正氏発見(28日帰国)	⑩			
6.23	日米新安保条約発効	①	6. 6	牛島中将の遺跡参拝のため元ビルマ派遣軍師団長林義秀氏来島	③
7.19	第一次池田内閣成立(中山ﾏｻ子厚相)	①	6.27	沖縄戦没者慰霊奉賛会設立許可	③
			8. 4	琉球政府大田主席は厚生大臣に対し沖縄戦戦闘参加者の遺族援護法該当保留者の法適用を陳情	⑥
			9.30	遺族国庫債券21万1500ドル厚生省から届く	⑧
			10. 4	太田社会局長は、本土政府と援護未処理、対馬丸遭難児童等問題で交渉	⑥
			10.16	国立身体障害者更正指導所長稗田正虎氏は戦傷病者補装具支給の為来島	⑥
			11. 1	第２代特別地域連絡局長に大竹民陟氏任命	⑦
12. 1	本籍が沖縄地域にある未帰還者に対する「未帰還者特別措置法」の適用について（援発823、824号）通知	①	12.13	平和観音慰霊像建立地の公園化調査のため早大村徳太郎、山内政雄、日本住宅公団生野雅三氏来島	⑥
12. 2	動員学徒全国大会（明治神宮）	①	12.26	藤枝総務長官、那覇日本政府南方連絡事務所庁舎落成式に出席の為来島	⑥
12. 8	第二次池田内閣成立(古井喜美厚相)	①	12.28	南方連絡事務所庁舎落成（与儀）	⑥
			12.23	瀬長副主席、新里沖縄自民党幹事長戦闘協力者対策、疎開学徒の見舞金問題について厚相に面接	①

昭和３６年

国等の動き			沖縄での動き		
			2. 1	琉球立方院、沖縄の日本返還満場一致で決議	①
			3. 3	中村隆則総理府恩給局次長、皆木治平課長、白井正達課長の３氏ら恩給事務指導のため来島（～3/22）	②
			4.22	上野村戦没軍人軍属慰霊祭	⑥
			4.23	平良市主催戦没軍人軍属慰霊祭	⑥
6. 1	「引揚援護局」は「援護局」と改称	①		沖縄戦没者慰霊奉賛会へ補助金支給	②
7.18	第二次池田内閣成立(灘尾弘吉厚相)	①	7.24	「住民の祝祭日に関する立法」の施行により６月２２日を「慰霊の日」とする。	公報
			9.30	沖縄戦戦没新聞人慰霊碑除幕式	⑥
			10.12	靖国神社秋季例大祭参拝遺族団94名出発	⑥
			11. 9	琉政厚生局、南連共同で糸満町摩文仁のタキンダ自然壕で２５柱収骨	⑥
			11.20	総理府特連局南方連絡事務所は健児の塔付近の未収骨壕の調査を行う。	⑥
			11.24	大分県遺族団沖縄戦跡巡拝の為来島	⑥
			11.30	和歌山県出身戦没兵士慰霊塔「紀之国塔」除幕式	⑥
			12.23	沖縄遺族連合会結成10周年記念大会	⑥
			12.30	沖縄戦で戦死した特攻隊及び航空関係者を祀る「空華の塔」除幕式	⑥

昭和３７年

国等の動き			沖縄での動き		
			1.	沖縄義肢補装具製作所の事業開始	⑬
			1.19	宮古で旧日本軍将兵忠霊碑及び獣魂碑記念植樹	⑥
2.16	沖縄戦闘協力死没者等見舞金支給要綱決定（閣議決定）	①	1.30	秋田県沖縄戦跡巡拝団（秋田県知事小畑勇次郎団長）一行15人、慰霊碑「千秋の塔」除幕式参列のため来島	⑥
			2以降	６歳未満児及び疎開学童遺族に見舞金支給開始（対馬丸　７８３人）	②
			3. 9	宮古遺族連合会大会開催(婦連会館)	⑥
			4.14	沖縄遺族連合会八重山支部主催第17回戦没慰霊祭挙行	⑥
			4.12	第23回靖国神社参拝団（武村朝良団長）一向１６１人出発	⑥
			5.14	第１回岡山県遺族沖縄巡拝団（入矢柾市団長）一行５０人来島	②
			5.25	第６代那覇南方連絡事務所長に藤田久治郎氏任命	⑦
7. 1	未帰還調査部廃止、新たに調査課設置	①	6.16	第１２回全琉戦没者遺族大会（於：那覇劇場）	⑥
7.18	第二次池田内閣改造(西村英一厚相)	①			
8.21	ソ連墓参団25人、羽田発(28日帰国)	⑩			
			10.14	愛媛県知事久松定武氏ら３人「愛媛の塔」慰霊除幕式のため来島	⑥
			11. 6	石川県遺族団（丸岡良郎団長）一行50人「黒ゆりの塔」除幕式の為来島	⑥
			11.20	徳安総理府総務長官、大竹同特連局長ら「沖縄戦終結17周年戦没者慰霊祭」出席のため来島	⑥
			11.22	南方同胞援護会会長大浜信泉氏（早大総長）同上慰霊祭出席のため来島	⑥
			11.24	衆院原健三郎副議長、参院重政庸徳副議長、草場隆円日本遺族会副会長氏ら同上慰霊祭のため来島	⑥
			11.25	「沖縄戦終結17周年戦没者慰霊祭」挙行（於：琉大記念体育館）南方同胞援護会、日本遺族会主催、日本政府、琉球政府協賛）	⑥ ②

昭和３８年

国等の動き			沖縄での動き		
			2.15	立方院本会議「引き揚げ者在外資産損失補償に関する要請決議」を可決	⑥
3. 1	「続々・引揚援護の記録」刊行	①	3.10	八重山で戦没将兵557柱を合祀した忠魂碑の慰霊祭挙行	⑥
4. 6	総理府臨時在外財産問題調査室設置	①			
3.31	戦没者等の妻に対する特別給付金支給法公布、額面20万円、10年償還（38.4.1適用）	②⑩	4. 2	山梨県知事天野久氏、同県出身戦没者慰霊のため来島	⑥
			5. 5	火の国之塔除幕式（熊本県出身沖縄戦没将兵をまつる。）	⑥
7.18	第二次池田内閣成立(小林武治厚相)	①			
8. 3	戦傷病者特別援護法(法律 168号)が制定され、戦傷病者手帳の公布、療養給付、補装具、国鉄無賃、航空券割引等の援護が開始された。（11/1適用）	②③			
8.15	全国戦没者追悼式、日比谷公会堂で挙行（両陛下御臨席、記念煙草ﾋﾟｰｽ発売）、以後毎年８月15日に実施、昭和40年以後は武道官で実施	①⑩			
11.22	ケネディ大統領暗殺	①			
11.30	引揚援護局新潟出張所廃止	①	11.14	北海道遺族沖縄戦跡巡拝団（団長：森秀蔵北海道遺族会理事）１０２人「北霊之碑」（10,085柱）の慰霊祭を行うため来島	⑥
			11.25	陸軍士官学校56期慰霊巡拝団（団長故牛島満大将の令息牛島貞二氏）一行10人、故牛島大将ら参拝の為来島	⑥
12. 9	第三次池田内閣成立(小林武治厚相)	①			

昭和３９年

国等の動き			沖縄での動き		
1. 7	戦没者の功績を讃え、遺族の精神的慰藉を図るため叙位叙勲事務が復活した。（沖縄では昭和40年より復活）	② ①			
4.21	叙勲基準、閣議決定	⑩			
4.25	第１回戦没者叙勲 10,177 名発令	①			
4.29	第１回生存者叙勲　　197 名発令	①			
			6.22	沖縄全戦没者追悼式（摩文仁が丘）	⑨
6.27	旧陸軍関係業務課が市ヶ谷庁舎から霞が関庁舎に移転	①	6.28	平良市慰霊塔除幕式並びに慰霊祭	⑥
7.14	(社会福祉)戦傷病者会館創立（厚生省社会局所管）	①	8.14	大田主席、全国戦没者追悼式に参列のため上京	⑥
7.18	第三次池田内閣改造(神田博厚相)	①			
9.10	政府、白衣募金者取り締まりを指示	①			
10.10	第18回オリンピック東京大会開催	①	11.19	総理府特連局長山野幸吉氏沖縄視察	⑥
11. 9	第一次佐藤内閣成立(神田博厚相)	①	11.19	鹿児島県知事寺園勝志、茨城県知事岩上二郎氏ら鹿児島慰霊塔除幕式に参列のため来島	⑥
12.11	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ戦没者遺骨収集団出発（～S40.2.6）	①			

昭和４０年

国等の動き			沖縄での動き		
3. 9	沖縄米国民政府より在京米国大使館を通じ、沖縄出身戦没者に対する叙勲発令に異議なしとの正式回答受領	①		沖縄叙位叙勲事務開始	②
3.28	千鳥が淵戦没者墓苑納骨拝礼式挙行（以後毎年春に挙行）	⑩			
4. 1	旧陸軍関係課を復員課と調査課に併合し「戦没者の叙位叙勲の進達業務」を行うため業務第3課が新設された。	①	4.12	静岡県知事斉藤寿夫ら５氏、沖縄戦で散華した同県出身 1,600柱の慰霊塔建立準備のため来島	⑥
			4.21	「住民の祝祭日に関する立法の一部を改正する法律」により「慰霊の日」を6月22日から6月23日に改めた。	公報
			4.20	宮崎県議長で慰霊塔建設奉賛会会長坂親男氏ら慰霊塔建立準備の為来島	⑥
			4.28	本土政府、戦没者叙勲を発表（沖縄関係２１８人）	⑥
5.10	昭和40年度援護事業功労者厚生大臣表彰（１２１名） 昭和40年度援護事務従事職員援護局長表彰（１，０７７名）	① ①			
6. 1	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法公布（昭40.4.1適用）	② ⑩	5.29	第14回戦没者叙勲（沖縄関係140人）	⑥
6. 3	第一次佐藤内閣改造（鈴木善幸厚相）	①	6.14	第二次大戦戦没者叙勲第１回伝達式主席室で行われる。	⑥
			6.22	岩倉規夫総理府賞勲局長、慰霊の日に行われる全琉戦没者慰霊祭に総理大臣代理として出席のため来沖	⑥
			6.23	慰霊の日、沖縄戦戦没者追悼式挙行以後毎年この日に追悼式を挙行（摩文仁丘）	⑥
			6.26	三重県出身沖縄戦戦没者慰霊塔「三重の塔」除幕式	⑥
			8.14	松岡主席、全国戦没者追悼式参列のため上京	⑥
8.19	佐藤総理、沖縄訪問（厚相同行）	①	8.19	佐藤総理一行、南部戦跡を参拝	⑥

昭和４０年

国等の動き			沖縄での動き		
			11.17	黒木博宮崎県知事、黒木重男県会議長ら28人「ひむかいの塔」除幕式参列	⑥
			11.26	内山岩太郎神奈川県知事、「神奈川の塔」除幕式参列のため来沖	⑥
			12. 2	千葉県遺族会会長臼井壮一氏（前総務長官、「房総の塔」除幕式参列	⑥

昭和４１年

国等の動き			沖縄での動き		
			3. 3	日本遺族会第12回沖縄戦跡巡拝団（団長：紺谷茂氏）一行51人来沖	⑥
4. 1	総理府に恩給審議会設置				
5.16	香港ｽﾄﾝｶｯﾀｰｽ島の戦没者の遺骨帰還	①	4.14	兵庫県「のじぎくの塔」慰霊祭挙行（団長：中沢真治氏尼崎遺族会会長）	⑥
7. 1	戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法公布（昭41.4.1適用）、額面10万円、10年償還	②	6.23	第5回慰霊の日 沖縄戦戦没者追悼式 参列：山口喜久一郎衆院議長列席	⑥
8. 1	第１次佐藤内閣改造（鈴木厚相留任）	①	8.10	松岡主席全国戦没者追悼式参列上京	⑥
			10.17	「福井の塔」慰霊祭挙行 北栄造福井県知事ら４５２人参列	⑥
			10.18	靖国神社秋の例大祭において対馬丸遭難学童を合祀	⑨
			10.19	佐賀県出身者を祀る「はがくれの塔」除幕式、慰霊祭挙行 （池田直佐賀県知事ら167人参列）	⑥
			10.20	岩手県出身者を祀る「岩手の塔」除幕式、慰霊祭挙行 （千田正岩手県知事、山崎県会議長）	⑥
			10.26	福島県出身者を祀る「ふくしまの塔」除幕式、慰霊祭挙行 （木村守江福島県知事ら５８人参列）	⑥

昭和４１年

国等の動き			沖縄での動き		
			11. 6	山口県出身者を祀る「防長英霊の塔」除幕式、慰霊祭挙行（吉富幸助日本遺族会理事ら91人）	⑥
			11. 8	山梨県出身者を祀る「甲斐の塔」除幕式、慰霊祭挙行（志村幸雄県父母の会会長ら124人）	⑥
			11. 9	栃木県出身者を祀る「栃木の塔」除幕式、慰霊祭挙行（横川信夫栃木県知事ら104人参列）	⑥
			11.11	第８代那覇南方連絡事務所長に高杉幹二氏任命（11.14着任）	⑦ ⑥
			11.24	高知県出身者を祀る「土佐の塔」除幕式、慰霊祭挙行（溝淵増巳高知県知事ら97人参列）	⑥
11.30	第三次在外問題審議会「在外財産問題に対し、なお措置すべき方策の要否等」について答申	①	11.25	埼玉県出身者を祀る「埼玉の塔」除幕式、慰霊祭挙行（栗原浩埼玉県知事ら270人参列）	⑥
12. 3	第１次佐藤内閣改造（坊秀男厚相）	①	12.10	福岡県出身者を祀る「福岡の塔」除幕式、慰霊祭挙行（鵜崎多一福岡県知事ら73人参列）	⑥